

LIXIL 引戸 引手錠・合掌錠 交換手順書

必要な工具

プラスドライバー

■交換手順

1 引手錠・合掌錠の取外し

①①内側化粧板の①取付けねじをプラスドライバーでゆるめて取外してください。

②②ケースの②取付けねじをプラスドライバーでゆるめて取外してください。

※①ハサミナットが設定されている場合、ハサミナットが型材の中に落ちないように注意してください。

2 錠の取付け

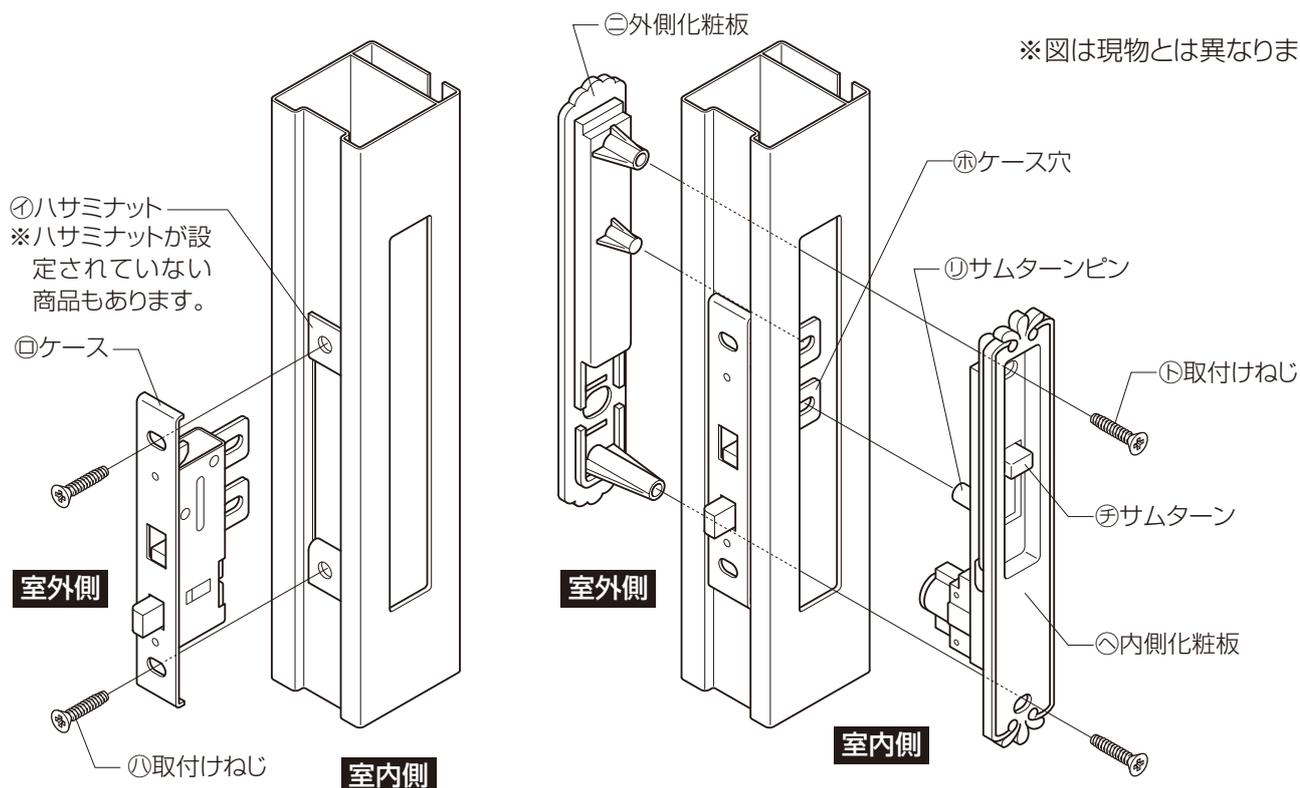
①①ハサミナットが設定されている場合、ハサミナットをケースの切り欠き穴に挿入し、②ケースを①取付けねじで固定してください。

※ハサミナットが型材の中に落ちないように注意してください。

②②内側化粧板の③サムターンを上げて、①サムターンピンが④ケース穴に入るように差込み、①取付けねじで仮止めしてください。

③③サムターンがスムーズに動くように⑤・⑥内外化粧板の位置を調整し、①取付けねじをしっかりと締めてください。

※図は現物とは異なります。



3 ストライクの交換方法

●⑧取付けねじの片側をプラスドライバーで外し、もう片側はゆるめて、ストライクを上、又は下に動かし、片側をぬいてから全体を取外してください。

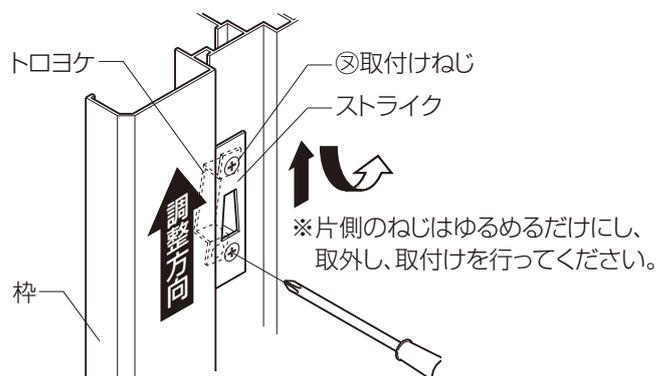
※ねじを2本とも取外してしまうとトロヨケが部材の中に落ちてしまい、取れなくなります。

取付けの際は、ストライクとトロヨケをねじ1本で仮組みし、外した場合と同様に取付けてください。

ストライクの位置が決まったらねじを締め付けてください。

4 錠の調整方法

●引手錠は固定になりますので、調整はできません。調整する場合は、縦枠側のストライク取付けねじを軽くゆるめて行ってください。(合掌部は、縦枠にストライクが取付いています。)



■交換後のチェック

●錠に鍵を差込み、施錠・開錠ができることを確認してください。

●サムターンを上下に動かし、施錠・開錠ができることを確認してください。

※取付けねじを強く締め過ぎると、施錠・開錠が固くなる場合があります。その場合は、ねじの締め付けを調整しながら確認してください。